

2023（令和5）年度事業計画について

1. 2023（令和5）年度事業計画

2023（令和5）年度は、2011年11月開催の第4回理事会で承認された第2次中期計画経営改善計画2022（令和4）年度～2026（令和6）年度（5カ年）に基づき、計画を実施する。

2. 法人

- （1）経営の安定（大学と専門学校の経営安定と円滑な専門学校廃止手続き）
- （2）管理運営の強化（組織経営基盤とガバナンスの強化）

3. 医療創生大学（柏キャンパス）

- （1）教育の質保証（教育課程と学習成果）
- （2）人事計画（教員組織・教員人事計画）
- （3）学生満足度向上（学生支援・就職支援）
- （4）入学定員の確保（学生の受け入れ）
- （5）教育研究環境・施設等整備計画
- （6）社会貢献・研究活動

4. 医療創生大学（いわきキャンパス）

- （1）教育改革と質保証（教育課程と学習成果）
- （2）人事計画（教員組織・教員人事計画）
- （3）学生満足度向上（学生支援・就職支援）
- （4）入学定員の確保（学生の受け入れ）
- （5）教育研究環境・施設等整備計画
- （6）社会貢献・研究活動
- （7）中期事業計画運営体制

5. 専門学校

- （1）学生の確保施策の実施
- （2）国家試験合格率の向上

医療創生大学 法人部門 中期計画実施工程表

重点課題Ⅰ：経営の安定

重点課題Ⅱ：管理運営の強化

戦略	取組項目	担当部署	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容／数値目標	重点事項	2023(令和5)年度	令和5年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
								目標と実績		
戦略Ⅰ	財務状況	法人	中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる	・前年度の支出を分析し、当年度の支出の抑制を図る	・理事会	経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	◎	(目標) ▲9%		
						人件費比率 (人件費/経常収入)		(実績)		
戦略Ⅱ	管理・運営	法人	主体性を重んじ公共性を高める自律的なガバナンスを確保し、より強固な経営基盤と、時代の変化に対応する大学づくりを進める	ガバナンスコードの遵守状況を可視化し、運営の適切化を進める。	・理事会	ガバナンスコード チェックリスト点数	◎	(目標) 55点		
								(実績)		

学校法人医療創生大学 柏キャンパス 中期計画実施工程表

重点課題Ⅰ:教育の質保証
重点課題Ⅱ:満足度向上
重点課題Ⅲ:社会的評価の向上

戦略	取組項目	担当部署	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容/数値目標	重点事項	2023(令和5)年度				令和5年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
								4月	7月	10月	1月		
戦略Ⅰ	(1) 教育課程と学修成果	学部	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験合格に向けた学力の担保 教育の質を保証する体制(サイクル)の確立 学生の国際交流に向けた交流拠点の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 年間の各単位において、国家試験対策定期目標指数「成績基準・試験、(模試)成績、授業評価の妥当性、学生の学習到達度」などを検証し、学修成果を学生が可視化できる取組を目指す。 学生の学習到達度の検証や学生の学修成果の結果を受けて、教育支援のための研修会や情報交換会を継続的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学部長 教務学生課長 	学修行動調査(授業時間以外の学修時間)	◎	目標: 10時間以上/1週間					
						就職率		目標: 設置審中					
						国際交流拠点の開拓	◎	目標: 3ヶ所					
						留年率		目標: 4%未満					
						国家試験合格率		目標: 設置審中					
戦略Ⅰ	(3) 研究活動	学部	<ul style="list-style-type: none"> 外部研究費の獲得 競争的資金の採択 国際関連の大型資金の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 申請説明会等を実施する。 組織的に申請書チェックを行う。 研究業績を年度更新しガルーンへ保管する。 	学部長	外部資金獲得件数	◎	目標: 3件以上					
						研究業績管理		目標: 100%					
						科研費採択率(採択数/申請数)	◎	目標: 30%					
戦略Ⅰ	(4) 設備等整備計画	<ul style="list-style-type: none"> 教務学生課 総務課 	<ul style="list-style-type: none"> ICT技術を活用した授業を実施するための環境を提供する。 施設修繕計画に則り教育に支障のない適切な整備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 無線LAN等のネットワーク 学外接続ネットワーク環境の充実 施設・設備の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 教務学生課長 総務課長 	ネットワーク・無線LANの整備状況に関する満足度調査		目標: 70%					
						ICTシステム設備稼働率		目標: 100%					
戦略Ⅱ	(5) 学生支援計画	<ul style="list-style-type: none"> 学部 研究科 教務学生課 	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を活かした環境改善、各種支援の強化等により、学生満足度70%を達成する 	<ul style="list-style-type: none"> 教職協働、学部横断による学生満足度調査の実施 検討された支援方策や改善内容について、学生に向けた適切な情報の公表 学生の心理面への調査検討、および実施 各調査結果に基づく支援の検討、環境改善・教育指導 	<ul style="list-style-type: none"> 学部長 教務学生課長 	学生満足度調査		目標: 100%					
						学生ポータルサイトの構築と活用		目標: 100%					
						離籍率		目標: 2%未満					
戦略Ⅲ	(6) 学生支援計画	<ul style="list-style-type: none"> 学部 教務学生課 	<ul style="list-style-type: none"> 入学定員充足率を100%にする。補佐的に志願倍率、合格率、歩留率を設定する。今後、18歳人口が減少していくことから、県外からの入学者数を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報用媒体の充実(WEB版のオープンキャンパス等) 対面広報(オープンキャンパス、高校ガイダンス、進学ガイダンス、高校訪問、高大連携、中学生向けガイダンス) 	<ul style="list-style-type: none"> 学部長 教務学生課長 	入学定員充足率		目標: 100%					
						志願倍率		目標: 2倍					
						合格率		目標: 2倍					
						歩留率		目標: 40%以上					
						県外入学者数		目標: 40%以上					
戦略Ⅲ	(7) 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 学部 看護キャリア教育研究センター 総務課 	<ul style="list-style-type: none"> 医療施設(看護職)・地域(看護)活動に資する教育訓練の実施・支援を通じて、医療創生大学(国際看護学部)の社会的プレゼンス向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 広報・外部連携体制の整備(HP、相談窓口など) 医療機関(看護職)の教育・研究にかかる情報利用支援 大学・地域行政機関・医療施設における研修会の企画および実施 外部医療機関での看護職員教育の支援(特定行為研修、新任職員研修など) 	<ul style="list-style-type: none"> 学部長 看護キャリア教育研究センター長 総務課 	情報利用支援にかかる講習会実施		目標: 1件					
						研修会・講演会の実施に向けた行政・医療機関との検討あるいは実施		目標: 3件					
						外部医療機関における職員研修の支援実施		目標: 4件					
戦略Ⅲ	(8) 財務状況	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の支出を分析し、当年度の支出の抑制を図る。 補助金の増収を目指し、要件の検証を行う 	理事会	教育活動収支差額比率(教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計)		目標:					

医療創生大学いわきキャンパス 中期計画実施工程表

重点課題Ⅰ：教育の質保証

重点課題Ⅱ：満足度向上

重点課題Ⅲ：社会的評価の向上

戦略	取組項目	対応部局	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容／数値目標	重点事項	報告月 実施報告担当部局	2023(令和5)年度	令和5年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
									目標と実績		
戦略Ⅰ	(1) 教育課程と学修成果	・学部 ・研究科 ・教務学生課 ・教務委員会 ・FD・SD委員会	・大学の理念・目的を実現するため、学修成果の可視化を通じてポリシーの評価検証を行う。 ・質保証サイクルを実質化する	・学部、学年、年間の各単位において、「成績基準・試験、(模試)成績、授業評価の妥当性、学生の学習到達度」であるディプロマポリシーの達成度を検証し、学修成果を学生が可視化できる取組を目指していくこととする。 ・達成度評価の基づき、FD・SD研修を実施し改善に努める。	教務担当副学長	学修行動調査 (授業時間以外の学修時間)	◎	11月 教務委員会	(目標) 11時間以上 80% (実績)		
						就職率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 100% (実績)		
						FSD参加率	◎	翌年度4月 FD・SD委員会	(目標) 100% (実績)		
						留年率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 5.4% (実績)		
						国家試験合格率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 100% (実績)		
戦略Ⅰ	(3) 研究活動	・学部	・外部研究費の獲得 ・競争的資金の採択	・申請説明会等を実施する。 ・組織的に申請書チェックを行う。 ・研究業績を年度更新しガールーンへ保管する。	学部長	外部資金獲得件数		翌年度4月 総務課	(目標) 5件 (実績)		
						研究業績管理		7月 教務学生課	(目標) 100% (実績)		
						科研費採択率 (採択数/申請数)	◎	翌年度4月 総務課	(目標) 20% (実績)		
戦略Ⅰ	(4) 環境・施設等研究 備計画	・学部 ・教務学生課 ・総務課 ・Dx推進委員会	・遠隔講義やICT技術を活用した授業を実施するための環境を提供する。 ・施設修繕計画を則り、教育に支障のない適切な整備を進める	・無線LAN、建屋間ネットワークおよび学外接続ネットワークの改善を行う ・施設・設備の更新及び修繕を行う	Dx推進委員長	ネットワーク・無線LANの利用状況に関する満足度調査	◎	11月 Dx推進委員会	(目標) 85% (実績)		
						ICTシステム設備利用率		11月 Dx推進委員会	(目標) 30% (実績)		
戦略Ⅱ	(5) 学生支援計画	・学部 ・研究科 ・教務学生課 ・学生生活委員会	・調査結果を活かした環境改善、各種支援の強化等により、学生満足度を70%を達成する	・教職協働、学部横断による学生満足度調査内容の見直し ・検討された支援方策や改善内容について、学生に向けた適切な情報の公表 ・学生の心理面への調査検討、および実施 ・各調査結果に基づく支援の検討、環境改善 ・教育指導 ・大学と保護者の情報共有を促進し、学生支援の連携を図るため調査を実施	学生担当副学長	学生満足度調査	◎	11月 学生生活委員会	(目標) 55% (実績)		
						学生パーソナル調査 (仮称)		7月 学生生活委員会	(目標) 実施率30% (実績)		
						離籍率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 3.0% (実績)		
						保護者満足度調査		11月 教務学生課	(目標) 60% (実績)		
戦略Ⅲ	(6) 学生の受け入れ	・学部 ・研究科 ・企画課 ・入試広報委員会	入学定員充足率を100%にする。補佐的に志願倍率、合格率、歩留率を設定する。今後、福島県の18歳人口が減少していくことから、福島県内の入学者数を確保した上で、県外からの入学者数を増やす。	・遠隔広報(動画、DM、HP、SNS、WEB版オープンキャンパス) ・対面広報(オープンキャンパス、高校ガイダンス、進学ガイダンス、高校訪問、高大連携、中学生向けガイダンス)	学部長	入学定員充足率	◎	翌年度4月 学部・企画課	(目標) 100% (実績)		
						志願倍率		翌年度4月 企画課	(目標) 2.52倍 (実績)		
						合格率		翌年度4月 企画課	(目標) 81.1% (実績)		
						歩留率		翌年度4月 企画課	(目標) 50.5% (実績)		
						県外者入学数		翌年度4月 企画課	(目標) 117人 (実績)		
戦略Ⅲ	(7) 社会貢献	・学部 ・研究科 ・企画課 ・教務学生課 ・健康科学RC運営委員会	地域への知識の提供を目的とし、公開講座や生涯学習を開催することで認知度を向上させる。	・公開講座を毎年開催する ・各学部の生涯学習活動を実施する ・対外活動の管理を行う	健康科学リサーチセンター長	公開講座参加者満足度	◎	1月 健康科学RC運営委員会	(目標) 80% (実績)		
						生涯学習公開講座実施数 (公開講座・市民講座・出前講座等)		翌年度4月 健康科学RC運営委員会	(目標) 17件 (実績)		
戦略Ⅲ	(8) 財務状況	・総務課	中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる	・支出を分析し、抑制を図る ・資金繰り表を作成し支出を管理する	理事会	教育活動収支差額比率 (教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計)	◎	翌年度7月 総務課	(目標) ▲10% (実績)		